

## 第25回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：平成30年11月29日（木） 16:00-17:24
2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
  - (1) 委員  
松井座長、薬師寺座長代理、市川委員、小野田委員、竝木委員、藤井委員、山崎委員
  - (2) 有識者  
常田 国立天文台長
  - (3) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）  
高田事務局長、行松審議官、須藤参事官、高倉参事官、山口参事官、森参事官
  - (4) 関係省庁等  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）  
國中 理事・宇宙科学研究所長  
藤本 宇宙科学研究所副所長

### 4. 議事要旨

#### (1) 工程表の改訂について

宇宙基本計画工程表の項目25・27の改訂案について、事務局から11月27日に開催された宇宙産業・科学技術基盤部会で審議結果（資料1）の報告があるとともに、今後の予定について説明があった。また、項目27の実績に米国副大統領の総理表敬の成果についても記載することについて意見照会があり、了承された。

また、委員から、以下のような質疑やりとりがあり、宇宙政策委員会に提出される改訂案についての調整は、座長に一任することとなった。

（○：質問・意見等 ●：回答）

○来年度（平成31年度）予算との関係で、資料1に示された取組の内容が変わることはあるのか。

●現在、来年度予算については、財務省と折衝中であり、その結果次第では修正が入ることはあり得る。

#### (2) 宇宙科学・探査プログラム策定の検討について

<論点及びスケジュールについて（資料2）>

前回（第24回）に引き続いて、今後の議論の進め方等について確認した。スケジュールに関し、特段の異論はなく、次回（1月）予定している「科学コミュニティにおける宇宙科学・探査ミッションの検討状況」のヒアリングについて誰に依頼するか等詳細は、座長に一任し、後日、事務局から各委員に連絡することとなった。

また、委員から、以下のような意見等があった。

（○：質問・意見等 ●：回答）

○科学コミュニティにおける検討に関して、トップダウンで決定された事項が影響力を持つのはJAXAまでで、科学コミュニティには影響力はないのではないか。プログラムと科学コミュニティの関係はどうイメージしたらよいか。

●JAXA宇宙科学研究所（ISAS）が重要と考えて開発している技術に基づいて、どういう探査ができるのか、科学コミュニティがミッションを提案していくというルートがあってもいいと考えている。

○資料2のプログラムの構成案は、非常によい。いままでISASの物事の考え方にはなかったものであり、今後のISASにとって、新しい方向性が出てくるのではないか。

<宇宙科学・探査プログラムの検討状況（資料3）について>

JAXAから以下に関してヒアリングを行い、意見交換を行った。

- ・宇宙科学・探査分野の国際動向
- ・JAXAにおける宇宙科学・探査に関する今後の取組

委員から、12～13 ページに示されている技術ロードマップイメージ等について、以下のような意見等があった。

（○：質問・意見等 ●：回答）

○技術のプログラム化の観点からはどう書かれるか、フロントローディングはどの部分が該当するのか、について明確にしていければよい。

○強みとなる技術を磨いて、獲得した技術をもとに、ミッションの提案を受ける、あるいは海外のプロジェクトに売り込んでいくということもできる

○各々のプロジェクトの計画の段階でフロントローディングを行うことも重要。

以 上